

将来のため今考えよう

計画の対象：自治体が保有する建築物その他の工作物。いわゆるハコモノのほか、道路・橋りょう、上下水道やガス事業施設、廃棄物処理施設などを含む

※下記のイメージ図と左ページの各数値は、公共施設等総合管理計画の一般的な構成を表現しているもので、本市の計画を示すものではありません。

計画のイメージ

我が国では、経済成長期に多くの公共施設が建設されました。現在、その多くは老朽化対策が必要な資産となり、にかほ市を含む地方自治体の課題となっています。

また、国・地方とも厳しい財政状況が続き、人口減少により公共施設の利用需要の変化も想定されます。これらのことから国では、全自治体に「公共施設等総合管理計画」の策定を要請しています。

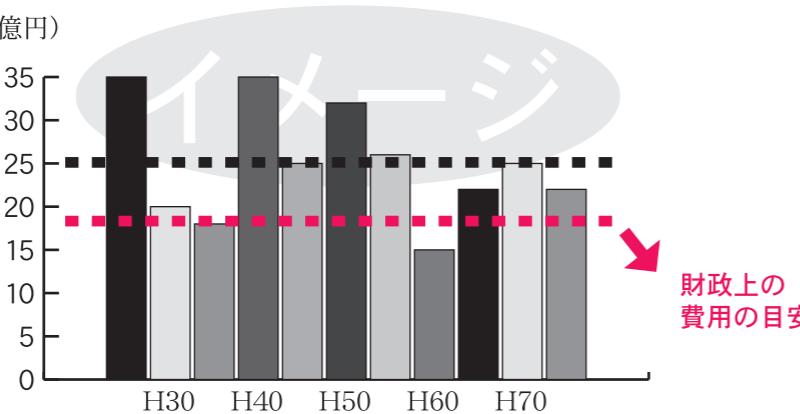
この計画は行政サービスの水準や将来の市民生活に関わるものとなります。本号では、計画のイメージや構成、その必要性などをお知らせします。

公共施設等総合管理計画：どんな計画なの？

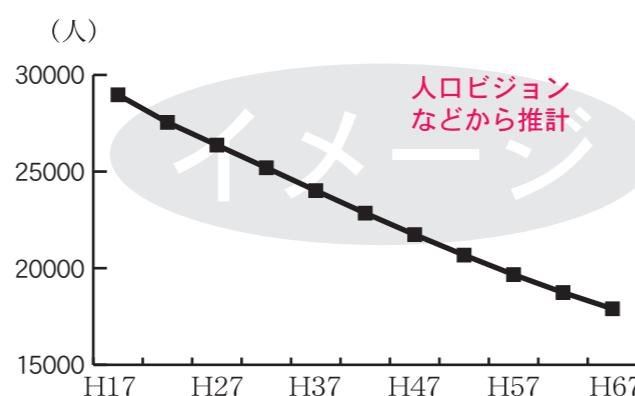
①・施設の現状を整理する

| 大分類 | 小分類 | 施設数 | 面積m ² |
|--------|-------|-----|------------------|
| 学校教育系 | 小学校 | 20 | 90,000 |
| 市民文化系 | 集会施設 | 23 | 6,000 |
| スポ・レク系 | 体育館 | 5 | 9,000 |
| 行政系 | 庁舎等 | 8 | 20,000 |
| | 消防団車庫 | 120 | 7,000 |
| 公営住宅 | - | 15 | 5,000 |
| その他 | - | - | - |

②・施設の維持管理、更新（建て替え）にかかる経費・財源等を見込む

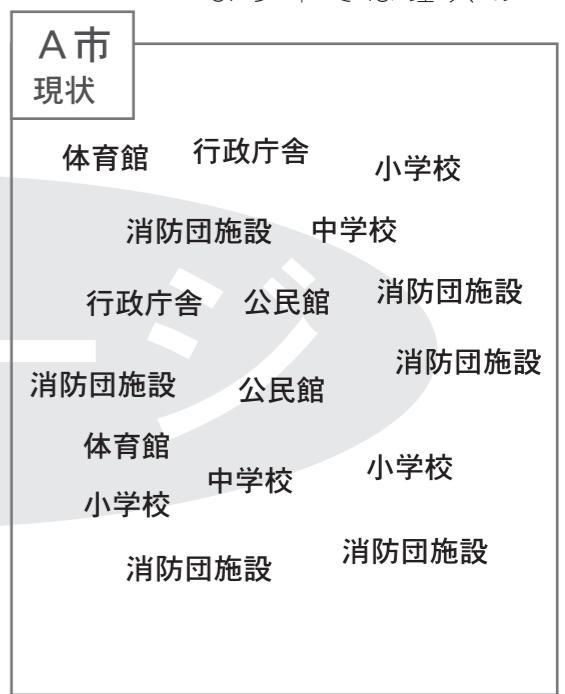


③・将来の人口見通しを示す



⑤・施設類型ごとの方針を示す

- 1・施設の現状（計画期間、取り組み体制、施設の適正化）
- 2・将来の人口見通し
- 3・住民向けの情報提供
- 4・施設類型ごとの方針（教育系施設、レクリエーション系施設、行政系施設、道路更新、長寿命化、統合、廃止、進ちょく評価、改訂など）
- 5・施設類型ごとの方針（教育系施設、レクリエーション系施設、行政系施設、道路更新、長寿命化、統合、廃止、進ちょく評価、改訂など）
- 6・民間の活用
- 7・広域的な検討



④・全体の基本方針を示す

4の全体方針を受けて、教育系施設、レクリエーション系施設、行政系施設など、施設の類型ごとに、維持管理、廃止、統合、譲渡などの方針を示します。今後、10年程度で実行可能なものは具体的に記載されます。

まとめ

計画策定に際しては、例えば「人口が3割減るから、施設も3割削減しましょう」といった一方的なものではなく、施設の特性、利用の度合い、公平性、その他他の計画・施策との整合性など、総合的に検討されます。

既存施設を現状維持するに年平均でこれだけ費用が必要！というイメージ



1～3の分析を受けて、市全体としてどれくらいの規模の施設数・延べ床面積が適正なのか、その目安を示します。30～40年先を見越して、今後、どのような方向で施設を維持、整備、管理していくのか、進ちょく評価や計画見直しの方法まで検討します。

公共施設を整備・建設すると、これは、建設年度に多額の費用が発生するほか、後年度の維持管理、起債の償還（建設費用の借金返済）等、将来世代に負担を残すことになります。人口や財政規模を考慮し、身の丈に合った公共施設のあり方、バランスのとれた配置、長期的で総合的視野に立った施設計画が、今、求められています。